

# '22彩の国 実業団駅伝

## 第63回東日本実業団対抗駅伝競走大会要項

### はじめに

- \* 新型コロナウイルス感染症の状況を十分に踏まえ、主催者は安全第一の大会運営に努める。  
エントリーにあたり各チームは、安全対策に協力することを必須条件とする。
- \* 開催地の埼玉県や出場チームの各活動拠点等での新型コロナウイルス感染症の状況など総合的に判断し、行政の指導も得ながら、状況次第では大会を中止(代替え)とする場合がある。中止とした場合は、当連盟のホームページ等にて告知する。
- \* 大会当日、その前後における大会運営・競技運営に関わる新型コロナウイルス感染予防対応策は、別途定める。
- \* 新型コロナウイルスは引き続き楽観を許さない。沿道での応援・観戦を解禁するか否かは、感染予測などを基に'22年9月末には判断する見通し。応援自粛をご依頼する場合は、出場チームには別紙「応援自粛協力の同意書」の提出を求める。

主 催 東日本実業団陸上競技連盟

後 援 毎日新聞社、TBS、埼玉県、埼玉県教育委員会  
さいたま市・上尾市・桶川市・北本市・鴻巣市・行田市・熊谷市・深谷市、  
さいたま・上尾・桶川・北本・鴻巣・行田・熊谷・深谷 各市教育委員会  
(公財)埼玉県スポーツ協会、(公財)さいたま市、熊谷市各スポーツ協会  
上尾・桶川・北本・鴻巣・深谷 各市スポーツ協会、行田市体育協会  
(公財)埼玉県公園緑地協会

運営協力 (一財)埼玉陸上競技協会

特別協賛 未定

協 力 埼玉県警察、各警察署(浦和・浦和西・大宮・上尾・鴻巣・行田・熊谷・深谷)  
各交通安全協会(浦和・大宮・北本・鴻巣・行田・熊谷・深谷)  
各市交通安全指導員(さいたま・桶川・北本・鴻巣・行田・熊谷)  
各市スポーツ推進委員連絡協議会(さいたま・上尾・桶川・北本・鴻巣・行田・熊谷・深谷)  
各商工会議所(さいたま・上尾・行田・熊谷・深谷)各商工会(桶川・北本・鴻巣・吹上)  
国土交通省関東地方整備局大宮国道事務所、たけうちクリニック、  
(一社)埼玉県バス協会、(一社)埼玉県トラック協会、(一社)埼玉県乗用自動車協会、  
本田技研工業(株)、大里農林振興センター、マメトラ農機(株)  
東京電力パワーグリッド(株)熊谷支社、マロウドイン熊谷、眼鏡市場熊谷店

1. 日 時 2022年11月3日(木・祝)埼玉県庁 8時00分スタート
2. 走 路 埼玉県庁～深谷～熊谷スポーツ文化公園陸上競技場【7区間76.9km】
  - 第1区 11.6km 埼玉県庁～宮原小学校前
  - 第2区 8.0km 宮原小学校前～マメトラショッピングセンター前
  - 第3区 16.5km マメトラショッピングセンター前  
～JR行田駅入口(東京電力パワーグリッド株式会社熊谷支社)
  - 第4区 9.5km JR行田駅入口(東京電力パワーグリッド株式会社熊谷支社)  
～大里農林振興センター前
  - 第5区 7.8km 大里農林振興センター前～JR深谷駅前
  - 第6区 10.6km JR深谷駅前～Honda cars前(眼鏡市場熊谷店)
  - 第7区 12.9km Honda cars前(眼鏡市場熊谷店)

～熊谷スポーツ文化公園陸上競技場

3. 参加資格 (1)2022年度日本実業団陸上競技連合に「企業チーム」または「クラブチーム」として登録され、さらに「企業チーム」に関しては当該企業と直接的な労働契約関係(\*)にある監督ならびに男子競技者により編成されたチームとする。但し、「企業チーム」「クラブチーム」とも、監督・競技者は出場チームにおいて9月30日までに登録された者に限る。※システムの都合上ご協力をお願いします。  
\* 短期的な労働契約(例えば駅伝シーズンのみの契約)の者は除く。  
(2)「企業チーム」に関しては、本大会申込期限目前に移籍した競技者の取扱いは、連合登録規程第6条の定めにもとづく。  
(3)外国人登録者は、労働契約を締結し当連盟に登録申請した日以降、日本国内に滞在した日数が初年度登録者と移籍者においては、180歴日以上、次の年度からは、120歴日以上が必要である。但し今年度、学校教育法第1条に定める学校を卒業し、引き続き採用された競技者については、120歴日以上が必要となる。  
なお、エントリーした外国人競技者の今年度の滞在日数確認のため外国人資格審査書(大会ホームページよりダウンロード)及び証明できる資料を申し込み時に提出すること。
4. チーム編成 (1)「企業チーム」及び「クラブチーム」は同一企業及び同一クラブの単独チームとする。  
(2)チームは、監督1名 選手14名、計15名以内とする。  
(3)外国人競技者は、申込時より1チーム最大2名以内とする。但し、出走(場)は1名までとする。
5. 参加料 (1)1チーム 50,000円 参加申込と同時に納入すること。  
(2)振込先 三井住友銀行 人形町支店 普通預金 口座番号0908198  
口座名義 東日本実業団陸上競技連盟  
※参加料はいかなる場合も返金しない(新型コロナウイルス感染拡大の影響等により大会中止となった場合も含む)
6. 申込み **当連盟のホームページに掲載された内容により申し込むこと。**  
**締切は10月7日(金)午後5時必着。**  
TEL:03-3861-6116
7. 表彰 団体賞 第8位迄・個人賞(区間最高記録者)
8. 監督会議 2022年11月2日(水) 於:熊谷スポーツ文化公園陸上競技場会議室  
13時(監督会議に出席しないチームは棄権と見做す)
9. 閉会式 簡素化して実施予定。  
於:熊谷スポーツ文化公園陸上競技場(上位チームのみ) ※別途通知
10. 全日本大会 2023年1月1日(祝)群馬県において開催される第67回全日本実業団対抗駅伝競走大会への出場資格は、今大会の**上位12位**までの企業チームに与える。
11. 注意事項 ①出場選手の区間最終エントリー(オープンも含む)は**11月1日(火)正午までに**E-mail([hnj1@hnjtf.jp](mailto:hnj1@hnjtf.jp))で送信すること。  
尚、監督会議時の選手変更は補欠により行う、監督会議以降補欠による選手変更は、11月3日(木・祝)7時00分までに審判長に届け出て許可を得たもののみ認める。  
②1企業2チーム以上出場出来るが2チーム目からはチーム順位、区間記録とも全てオープン扱いとする。  
③Aチームの補欠選手はBチーム以降の選手として競技する事が出来る。  
但しAチームからBチーム、Cチームへと順次下げるが、その逆は認めない。  
④参加チームのナンバーカードは前年度の上位順としコースはナンバーカード順とする。

- ⑤選手の配置収容は各チームで行う。
- ⑥連絡車、応援車については一切認めない。
- ⑦ノボリ、手旗、チーム旗、横断幕等はスタート地点及び中継所に於いては中継点を境に前方、100m、後方100mの間並びに中央分離帯は禁止とする。その他の箇所については交通の妨げや住民の迷惑にならぬよう特に注意する事。尚、交通標識等にノボリ、手旗、チーム旗、横幕等をくくりつけることは厳禁とする。  
その他著しく支障があると認められる場合は大会事務局で撤去する事がある。
- ⑧選手の健康管理については参加者側で責任をもつこと。
- ⑨駅伝走行中の事故については、主催者で応急処置のみを行い、その後の処置については責任を負わない。なお、駅伝参加者は事前に保険に加入すること。
- ⑩陸連駅伝基準規則並びに監督会議の申し合わせ事項によりすべて運営されるものとする。
- ⑪その他詳細事項については監督会議において指示する。
- ⑫外国人競技者の走行区間は2区または5区とする。
- ⑬競技中体調不良、事故等で競走不能と審判長が判断した場合、競技を中止させることがある。
- ⑭各区間において先頭通過後10分で繰り上を行う。
- ⑮駅伝コース添いにあるコンビニエンスストア・飲食店・その他の店舗の駐車場にチーム関係者応援者の車輛を絶対に駐車させないこと。
- ⑯IDコントロールを行う。  
IDは監督・選手・スタッフ含め各チーム50枚までとし1週間前(10月27日)からの体調管理チェックシートの提出を必須とする。提出方法は、スマートフォンアプリを原則とする。使用するアプリなど詳細は「ガイドライン」にて別途案内する。なお、大会終了後11月17日まで健康観察を継続し「体調管理チェックシート」へ記入する。万が一、新型コロナウイルスに感染が確認された場合は、担当保健所の指導に従うこととともに、大会事務局に報告する。その際大会事務局は個人情報の取扱いに十分留意する。  
※体調管理チェックシートについては後述。  
各企業への応援自粛対応として、ID所持者以外のコース周辺及びスタンドを含めた競技場内の入場を規制する。  
なおID所持者は、基本的には競技場内スタンドにいるものとする。
- ⑰大会が中止となった場合の第67回全日本実業団対抗駅伝競走大会出場チームの決定方法について
- 1) 第66回全日本実業団対抗駅伝競走大会において15位以内のチーム  
(Honda・SUBARU・GMO インターネットグループ・日立物流・富士通・ヤクルト)
  - 2) 残り6チームについては11月26日に行われる「八王子ロングディスタンス」にて決定する。  
詳細については別途連絡する。
- ⑱主催者は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守し、個人情報を取り扱う。  
なお、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、公式ホームページその他の競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。  
大会の映像・写真・記事・個人記録などは、主催者及び主催者が承認した第三者が大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌インターネット等の媒体に掲載することがある。  
大会の映像は、主催者の許可なく第三者がこれを使用すること(インターネット上においては画像や動画を配信することを含む)を禁止する。

12. 宿 泊 各チームにおいて手配願います。

13. テレビ放送 11月3日(木・祝) TBSで放送予定